

民間による 高校教育乗っ取り?!

高教組委員長 竹島久美

七月十三日、新たに導入される二つの新テスト「高校生のための学びの基礎診断」(以下Aとします)、「大学入学共通テスト」(以下Bとします)の実施方針が公表されました。これまでの検討過程では、それぞれ「高等学校基礎学力テスト」「大学入学希望者学力評価テスト」と仮称されていたもので、Aは二〇一九年度から実施、Bは二〇二〇年度開始のようです。

いろいろの問題点はありますが、今回発表されたものを見て一番驚いたのは、Aにおいては、大学入試センター的なところが作るのではなく、「一定の要件に即して認定された民間の測定ツールの中から各高校が選んで実施」というように、全面的に民間のテストを利用するあたりになっていたことです。二〇一六年三月の高大接続システム会議最終報告でも、「公的な性質を踏まえつつも、可能な業務は積極的に民間事業者の知見を活用する」と書かれていました。が、「可能な業務」ところが完全に民間利用です。文科省は、五月三十日にすでに

「高校生のための学びの基礎診断(仮称)」に係る民間事業者説明会を行っています。Bにおいても、「共通テストの英語試験については、平成三五年年度までは実施し、各大学の判断で共通テストと認定試験のいずれか、又は双方を選択利用することを可能とする」とあり、それ以降は認定試験(資格・検定試験)で一本化するように読めます。A、Bとも議論が進むにつれて民間利用の部分がどんどん大きくなっていきます。

高知県の全日制の高校では、数年前から全校でベネッセの「基礎力診断テスト」もしくは「スタディサポート」が強制的に行われていました。これまでもそれほど締め付けはきつくありませんでした。が、今年からは、「基礎学力不足と判定される生徒を減らせ」と、三年生一学期の基礎力診断テストで数学の成績がガタんと落ちるのを何とかせよ」という締め付けがきつくなっています。おそらく知事の意向なのでしょう。ベネッセのテストもAの測定ツールに認定されると思

展示教科書から



道徳教科書展示会

山崎 きよ子

5月に自分の選挙が終わったので、ついでに道徳教科書の展示会に行くのを忘れていました。展示委員会は問い合わせたというところ、広く一般の町民にお知らせしたのかと聞くと、していないとの返事。私はそこを驚きましたが、「次からは見たい人もいるので、お知らせをきちんとしてください」とお願いしてお帰りしました。道徳の教科書なんて興味ないで勝手に判断して、お知らせしなかったのでは?私には特別に頼んで日8社ある1年生から6年生までの教科書を見せてもらうことにしました。

教育出版の教科書が問題ありと聞いていたので、重点的に見てみましたらなんと、5年生の教科書に安倍首相の写真。2年生には「国旗や国歌を大切にする気もちの表し方」

いのの風にふかれて②

として「き立して国旗に対してしを正し、ぼうしをとって、れいをします。」「国歌がながれたら、みんなでいっしょに歌います。」とさすが育鵬社に關係する人が執筆しているだけのことはあります。まさか高知県内で採択するとは思えませんが、しかし、他の教科書を見ても何か違和感を覚えるのです。美談の押し付けのように感じるの私だけでしょうか。

先日、弁護士を講師に憲法の学習をした時、講師が「今、学校では憲法をどのように教えていますか」と聞かれました。詳しく教える先生もいますが、教科書通りというのが普通ではないでしょうか。私は道徳を教科にするくらいなら、憲法をもっと学校で教えたいと思います。と言いながら、道徳の必要性が言われるのうなずける面もあります。我が子を見てもそうです。友達同士で呼び捨てにする。親に対してエラそうな口をきく。物を大切にしない、我慢ができない。昔の子どもたちと違ってきているのを感じます。自分の育て方が悪いのか、社会が悪いのか、テレビやスマホの影響か。小学4年生の娘のしつけに悩む毎日です。

日記を書くように絵をかき計画

下田 俊子



「憧れの専業主婦と貧乏絵かきになりなす。」と退職のあいさつをして、毎日、日記を書くように絵をかき計画

の上手な人ばかり、東京芸大にも何人も合格しました。石膏デッサンを100枚描いたら合格できると、枚数だけ数えたものでした。

画家になって生活できることはごく稀、教員免許は必ずとるように大学で先生にいわれました。高校で美術を教えていた時、委員会の夏の講習会で「先生には、二足のわらじをはいてもらいたい。すなわち教師と、作家としてご自分の作品も作ってもらいたい。」といわれ、仕事、家事、育児、と充分スーパーウーマンだと思うのにその上と思ったこともあり

大学を出る時、どんな作品を描けば時代に残るのか、新しいテーマは、配色は、など考えましたが、答えは出ませんでした。独身最後の一人暮らしで時間が多くあった時、かき始め、仕上げようと思ったものが一つあります。まだスケッチ(写真)です。等身大の鏡の枠の中にブルーの背景、光と陰にぬり分けられたバックのヌード像。仕上りはただ夢かも知れません。

今、大阪にきて近所の喫茶店に花のスケッチを飾らせてもらっています。作品の入れかえに行く時、コーヒーを一杯注文します。本音をいうと、コーヒー一杯ぐらい出したいのですが、そう簡単にはお金になりません。



趣味は、絵を描くことというなら、大学で美術を学び、美術の先生になったことは、幸せな人生と思います。

小学校の夏休み、宿題に出された絵は毎日かいていました。父が写生が好きで姉と三人、川原にスケッチに出かけた時のこと、画用紙の残り一枚をとりあって姉とケンカになり、とっくみあいをしてる間に画用紙は川に流れてしまったことがありました。母は、どんな絵でも描いてみせると「イイネ」とほめてくれ励みになりました。「こいのぼり」を描く授業で、母と二人散歩中にこいのぼりを見上げた様子を、後ろむきの母と私、遠くの空に小さくこいのぼりを描いたのですが、廊下にはり出された絵は、画面一杯魚が泳ぎ、人物は小さくかかれています。大人が好む子どもらしい絵があるのですね。

私はよく絵をかいていると、どこかから賞賛の声がきこえ、有頂天になりました。中学、高校は美術部、美大には一年浪人して行きました。予備校では、毎日、8~10時間絵を描きました。まわりは絵

趣味悠々